

第 28 回全国ローターアクト研修会並びに
第 13 回アジア太平洋地域ローターアクト会議 (APRRC2016)

ローターアクト委員長会議報告書



2016 年 3 月 20 日

国立京都国際会館

国際ロータリー第 2650 地区

『第 28 回全国ローターアクト研修会並びに
第 13 回アジア太平洋地域ローターアクト会議』
地区ローターアクト委員長会議 式次第

2016 年 3 月 19 日 (土)
国立京都国際会館 ルーム D

(敬称略)

- | | | | |
|---------|---|------------------------------------|----------------|
| 15 : 00 | 受付開始 | 司会 RID2650
ローターアクト副委員長 | 宮本 研二 |
| 15 : 30 | 開会宣言
挨拶
趣旨説明 | RID2650 ガバナー
RID2650 ローターアクト委員長 | 中澤 忠嗣
山本 耕司 |
| 15 : 35 | 講演 | 講師 RID2720 パストガバナー | 岡村 泰岳 |
| 15 : 55 | テーブルディスカッション (各 12 テーブル 60 分間)
【ディスカッションテーマ】
・参加者自己紹介
・ローターアクトとロータリアンの携わり方・・・アクターへの要望等々
・ローターアクトクラブの会員増強・・・各クラブの現状と地区のサポート
・ローターアクトの卒業 35 歳制について
・地区の活動について (アクトクラブの現状 会員数・活動内容)
ロータリアンの感じる事 | | |
| 16 : 55 | 講評 | RID2650 パストガバナー | 坂本 克也 |
| 17 : 00 | 閉会 | | |

世界のローターアクトクラブ数	8,754
世界のスポンサークラブ数	8,341
世界の地区	529
世界の会員数	201,342

	国名	クラブ数	増加
1	インド	1,901	138
2	アメリカ合衆国	716	16
3	ブラジル	630	19
4	フィリピン	488	24
5	バングラディッシュ	310	4
6	日本	284	7
7	ナイジェリア	274	6
8	メキシコ	245	2
9	韓国	208	1
10	ドイツ	190	-1
11	アルゼンチン	173	5
12	台湾	164	4
13	トルコ	145	2
14	フランス	100	0
15	ペルー	98	1
16	ネパール	97	1
17	カナダ	88	1
18	ウガンダ	86	9
19	オーストラリア	81	2
20	スリランカ	68	0

2012-13 RID2720 ガバナー
ARRFC

岡村泰岳

『第28回全国ローターアクト研修会並びに
第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議』

地区ローターアクト委員長会議 議事録

以下、テーブルディスカッションにて議論された内容をテーマごとに掲載いたします。

【ディスカッションテーマ】

☆ローターアクトとロータリアンの携わり方・・・アクターへの要望等々

- ・未提唱 RC のロータリアンが、ローターアクトの事を知らなすぎるので、周知が必要。
- ・提唱しているロータリアンが、常にアクターに関心を持ち続ける。
- ・一部の人が関われば良いではなく、多くのロータリアンが関わるようにする。
- ・「数は力」とは言いますが、一人ひとりしっかりと育てて行くことも大事
- ・一般、そしてロータリアンへ向けての広報という部分でもっと積極的に行うべきだと、まずはロータリーの地区内ホームページへ RAC 活動報告 Facebook ページへリンクを設置した。RAC 活動がわかるように、地区内 5RAC へ活動予告及び報告をできる限りスピーディにアップしてもらおう環境を作った。
- ・活動についての報告書の形式を統一して毎回 RC へ報告することを求めた。そうすることによって、情報がわかりやすく伝わることを実感した。
RC での、3年委員会制度を重要視し、ロータリアンに RAC のことをよりわかってもらえ、サポートしてもらえる状況を定着化させていくことが大切だと感じている。
- ・1RAC を 5RC で提唱しているクラブがある。各クラブが、1年間を分割して担当期間ごとに指導を受け持つ形の為、それぞれの RC での指導内容が違っていたり、関係が希薄であるといったところがある。RAC 会員も困惑する状況であった。
- ・やはり 1RAC を 1RC が提唱するという形が一番良いことを改めて感じた。そして、提唱した RC 自身が、RAC への理解を深め、しっかり責任を持って育ていかななくてはならない。それが大事だと感じている。
- ・ロータリアンから積極的にローターアクトへの声掛けをして、ローターアクターの心を開かせていく機会を重ねていくことで、心や会話のキャッチボールが可能になるのではないかな。
- ・ローターアクト例会時にロータリアンの卓話を計画する。

☆ローターアクトクラブの会員増強・・・各クラブの現状と地区のサポート

- ・悲しいが、現実として、ローターアクターだけでは、会員増強がなかなかできないのではないかな？
- ・提唱ロータリークラブの会長・幹事が、会員を増やす為の組織をしっかりと作って、ロータリアンの責任で増やす！！
- ・1～2年で一気にロータリアン総出で会員を増やす。その際に、アクターで一人「成功モデル」がいるとやりやすい。
- ・アクトでワークショップをやって 50 人位集めたけど、次からは友達が来なかった・・・意識の高い若い人は少ないのでは。

- ・「アクト＝何でもできる」では集まらないので、「ウチのアクトだから、こんな事が出来るんだ！」という特徴を作る。
- ・会員が伸びているクラブは、アクターとロータリアンの一体感がある。
- ・RACのOBから、過去を振り返り思うことは、RCはRACや青少年育成についてどう思っているのか。何のためにRAC提唱したのか、もっと真剣に考えていただきたい。
ローターアクトへの入会資格を厳しめに見られるロータリアンがおられることもしばしば。ローターアクトは、見学に来てくれるだけで、まずは入会への第1歩だと嬉しく感じている。互いの考えや思いをもっと共有出れば、会員増強への道も開けるのではないか。
- ・インターアクトは拡大傾向にありローターアクトは減少方向にある。であるなら、インターアクトからローターアクトに人材を引っ張って来るシステムを作ってはどうか？
この方法を実践した東京は成功した。沖縄は上手く行かなかった。沖縄は県外に出る傾向があり人が留まり難い。地域性を見極める必要がある。ただ、県外に出て自分でローターアクトを探し入会した話も聞くので、上手くいかななくても無駄と言う訳ではないのではないか。
- ・大学生に対しての発信力が弱く方法も少ない。
ローターアクトの魅力？のアンケートを取った所、異性と友達になりたいと言うものがあつた。本来の趣旨とは離れるが、こういうものも利用し魅力的な宣伝活動は出来ないだろうか。
- ・RYLAから引っ張る。ローターアクト未提唱RCから引っ張る。青少年交換のROTEXから引っ張る。
未提唱クラブから引っ張るのは大きな可能性があるのでは？
ROTEXの子をローターアクトに入れているが、そこから輪が広がりメンバーが増え、クラブも増えた。日本の文化交流も友人も出来、国際理解も深まるローターアクトで活動してみないか？と誘えば、入る青少年交換の子が多い。
- ・ローターアクトの質を上げれば必然とメンバーが増える。
例会を魅力的なものにする。ローターアクトに入会することがステータスになるようにクオリティを上げているローターアクトクラブもあり成功している。ロータリーが積極的に参加する。
- ・ローターアクトとロータリーの座談会を3年やっている。その結果5クラブが増えた。
- ・共同提唱でクラブが増えた。
責任の所在がはっきりしなく運営が上手く行っていない所もあるが、一度ローターアクトを廃止したクラブが他クラブを集めて運営を行っている所もある。
- ・若い人材に交流の場を設ける

☆ローターアクトの卒業35歳制について（アクトからロータリアンへ）

- ・時限立法的にやるのはアリではないか？
- ・会員減少が続くローターアクトにとってカンフル剤は必要なもので、良いことだ。
- ・ずっと規定審議会で否決されているが、寿命が長寿化しているので、35歳にしても良いのではないか？
- ・むしろ、社会が若いうちから即戦力になるリーダーを求めるようになったので、卒業年度を若くすべきでは？（26歳とか・・・）
- ・同世代との利害関係のない出会いもあり、ローターアクト活動での経験から大いに勉強させていただくことができたので、30歳からは次のステップへ進みたい！と熱望している声もある。
- ・18歳から35歳となると、長く長老級のローターアクターが所属していることで、若者が育っていないのでは？という懸念も感じられる。

- ・人員確保の為に35才にするならば必要ない。
- ・人は段階を通して成長して行くものなので35才にする必要はない。
- ・30～35才で新しい団体？ロータリーアクトの様なものを作ってはどうか。
- ・アクト卒業後は30歳でも（Eクラブ）入会が出来ないか。その後Eクラブをきっかけに、ロータリークラブ（地域）に入会してはどうか。

☆地区の活動について（アクトクラブの現状 会員数・活動内容）ロータリアンの感じる事

- ・広報については、ガバナー月信・地区ホームページ・アクト facebook に活動報告を掲載し広報に努めている。
- ・「アクトの日」事業については、全国ほとんどの地区が開催されていますが地区が主催の地区と各クラブ独自の開催地区が見受けられる。
- ・地区の活動については、（地区内各クラブ）の現状把握が必要で各クラブをサポートしなくては成らないと思います。地区の「存在意義」を確り確立して下さい。
- ・地区が主催の事業が年間を通じて多過ぎると会員の負担が大きく各クラブの運営に支障を来す事もあります。アクトの基本理念で有る「奉仕を通じての親睦」を考えると地区内メンバーとの交流は必要不可欠と考えます。また近隣の地区との交流・意見交換も必要と考えます。

☆ローターアクト・ジャパンについて

- ・現在ローターアクト・ジャパンには一切ロータリーが関わっていない状況であるため、ロータリーが今後どう関わって行くのかを議論・協議し、実行していく必要がある。

編集後記

全国34地区内より多くの青少年関係地区役員・各クラブの青少年関係者の皆様にご参加を頂き「全国ローターアクト委員長会議」が開催されました事を心よりお礼申し上げます。

ご参加頂きました皆様には事前アンケートにご協力を頂き、当日のテーブルディスカッションでは貴重なご意見を頂きました。

また、国際ロータリー第2720地区パストガバナー岡村泰岳様には貴重なご講演を頂き、地区内ではなかなか解決の出来ない事柄について重要な意見交換が行えたと感じます。

今後も全国34地区の青少年関係者による意見交換会が開催されロータリーファミリーに対するサポートが、各地区で益々活発に開催されます事を期待いたします。

結びに全国34地区の益々のご発展とご参加頂きました皆様のご活躍をご祈念申し上げ今大会の御礼とさせていただきます。

国際ロータリー第2650地区
ローターアクト委員会
2015-16年度委員長 山本 耕司

ローターアクト委員長会議の様子



